

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 熊本県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	こころの医療センター	2
熊本市	熊本市民病院	3
熊本市	植木病院	4
荒尾市	荒尾市民病院	5
水俣市	国保水俣市立総合医療センタ ー	6
山鹿市	山鹿市民医療センター	7
上天草市	上天草総合病院	8
宇城市	宇城市民病院	9
阿蘇市	阿蘇医療センター	10
天草市	天草市立牛深市民病院	11
天草市	天草市立栖本病院	12
天草市	国民健康保険 天草市立 新和 病院	13
天草市	河浦病院	14
和水町	和水町立病院	15
山都町	山都町包括医療センターそよ う病院	16
小国郷公立病院組合	小国公立病院	17
球磨郡公立多良木病院企 業団	多良木病院	18

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		熊本県	
市町村・組合名			
病院名	こころの医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	11,975 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	4	指定病院の状況	臨
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	10	-	-	-
精神	190	42.0	46.6	52.5
感染症	-	-	-	-
計	200	39.9	44.3	50.2
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,738,301	
決算規模(千円)	978,345,151	
標準財政規模(千円)	435,111,278	
財政力指数	0.39703	
経常収支比率(%)	90.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	209.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,079,793			
1 経常収益	2,079,765			
(1) 医業収益	616,835			
(うち修正医業収益)	603,622			
入院収益	456,410			
外来収益	142,796			
診療収入計	599,206			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	17,629			
(うち他会計負担金)	13,213			
(2) 医業外収益	1,462,930			
(うち国・都道府県補助金)	527,787			
(うち他会計補助・負担金)	907,394			
(うち長期前受金戻入)	25,370			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	28			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,580,237			
2 経常費用	1,580,231			
(1) 医業費用	1,545,560			
職員給与費	974,161	157.9	59.4	105.1
材料費	64,295	10.4	26.1	9.8
(うち薬品費)	47,296	7.7	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,046	2.6	11.8	1.6
減価償却費	162,232	26.3	8.7	12.8
経費	338,483	54.9	22.1	35.3
(うち委託料)	186,247	30.2	11.7	17.0
研究研修費	3,580			
資産減耗費	2,809			
(2) 医業外費用	34,671			
(うち支払利息)	34,671	5.6	1.0	2.4
(3) 特別損失	6			
損益	499,534			
純損益	499,556			
累積欠損金	-			
経常収支比率	131.6		103.3	101.8
医業収支比率	39.9		85.5	61.1
修正医業収支比率	39.1		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	44.3		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	149.2		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	44.3		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	73.4		91.9	68.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,099,003
1 固定資産	3,739,328
(1) 有形固定資産	3,739,087
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	241
2 流動資産	3,359,675
(1) 現金及び預金	3,220,693
(2) 未収金及び未収収益	135,257
(3) 貸倒引当金()	633
(4) 貯蔵品	4,358
3 繰延資産	-
負債合計	4,167,116
1 固定負債	2,212,004
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,557,698
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	654,306
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,271,897
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	352,573
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	77,389
(6) リ一ス債務	16,157
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	817,982
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	683,215
(1) 長期前受金	1,206,462
(2) 長期前受金収益化累計額()	523,247
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,931,887
1 資本金	2,089,987
2 剰余金	841,900
(1) 資本剰余金	1,550
(2) 利益剰余金	840,350
負債・資本合計	7,099,003
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	920,607	920,607
資本勘定繰入	176,909	176,909
計	1,097,516	1,097,516

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	熊本市				
病院名	熊本市市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	39,810 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨感地輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	380	81.6	79.0	70.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	49.7	63.5	60.6
計	388	80.9	78.7	70.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	12.4	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	738,865	
決算規模(千円)	403,175,196	
標準財政規模(千円)	203,631,086	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	93.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	102.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,613,198			
1 経常収益	14,459,198			
(1) 医業収益	11,729,208			
(うち修正医業収益)	11,523,582			
入院収益	8,898,314			
外来収益	2,488,754			
診療収入計	11,387,068			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	342,140			
(うち他会計負担金)	205,626			
(2) 医業外収益	2,729,990			
(うち国・都道府県補助金)	1,439,609			
(うち他会計補助・負担金)	722,410			
(うち長期前受金戻入)	431,927			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	154,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,335,770			
2 経常費用	13,325,657			
(1) 医業費用	12,668,327			
職員給与費	6,706,021	57.2	59.4	59.0
材料費	2,456,960	20.9	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,210,521	10.3	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,234,624	10.5	11.8	11.2
減価償却費	1,277,276	10.9	8.7	8.6
経費	2,192,682	18.7	22.1	21.3
(うち委託料)	1,544,632	13.2	11.7	11.6
研究研修費	23,619			
資産減耗費	11,769			
(2) 医業外費用	657,330			
(うち支払利息)	131,296	1.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	10,113			
損益	1,133,541			
純損益	1,277,428			
累積欠損金	15,037,288			
経常収支比率	108.5		103.3	104.8
医業収支比率	92.6		85.5	87.0
修正医業収支比率	91.0		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.4		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.9		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	6.4		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	101.5		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,351,647
1 固定資産	20,919,316
(1) 有形固定資産	19,365,891
(2) 無形固定資産	254,086
(3) 投資その他の資産	1,299,339
2 流動資産	10,432,331
(1) 現金及び預金	5,897,916
(2) 未収金及び未収収益	4,464,104
(3) 貸倒引当金()	17,148
(4) 貯蔵品	87,459
3 繰延資産	-
負債合計	42,011,749
1 固定負債	31,175,455
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,880,508
(2) その他の企業債	11,664,793
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,630,154
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,957,025
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	718,959
(2) その他の企業債	424,778
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	453,712
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,281,865
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,879,269
(1) 長期前受金	12,665,306
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,786,037
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,660,102
1 資本金	4,283,457
2 剰余金	-14,943,559
(1) 資本剰余金	598,060
(2) 利益剰余金	-15,541,619
負債・資本合計	31,351,647
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,660,102
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,780,833
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	916,296	928,036
資本勘定繰入	271,017	271,017
計	1,187,313	1,199,053

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	115.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	3,470,528
地財法上の資金不足比率(%)	25.7

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	熊本市				
病院名	植木病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,564 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	102	53.7	56.1	55.9
療養	39	83.3	90.9	92.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	141	61.9	65.7	66.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	14.7	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	738,865	
決算規模(千円)	403,175,196	
標準財政規模(千円)	203,631,086	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	93.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	102.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,996,604			
1 経常収益	2,939,618			
(1) 医業収益	1,723,483			
(うち修正医業収益)	1,606,864			
入院収益	1,231,020			
外来収益	296,368			
診療収入計	1,527,388			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	196,095			
(うち他会計負担金)	116,619			
(2) 医業外収益	1,216,135			
(うち国・都道府県補助金)	962,091			
(うち他会計補助・負担金)	187,996			
(うち長期前受金戻入)	61,884			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	56,986			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,115,398			
2 経常費用	2,113,081			
(1) 医業費用	2,015,315			
職員給与費	1,228,478	71.3	59.4	67.0
材料費	154,745	9.0	26.1	18.2
(うち薬品費)	59,318	3.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	87,317	5.1	11.8	9.4
減価償却費	128,259	7.4	8.7	10.2
経費	496,908	28.8	22.1	28.8
(うち委託料)	262,953	15.3	11.7	13.2
研究研修費	2,561			
資産減耗費	4,364			
(2) 医業外費用	97,766			
(うち支払利息)	25,498	1.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	2,317			
損益	826,537			
純損益	881,206			
累積欠損金	504,331			
経常収支比率	139.1		103.3	104.5
医業収支比率	85.5		85.5	80.1
修正医業収支比率	79.7		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	17.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.2		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	124.7		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,351,647
1 固定資産	20,919,316
(1) 有形固定資産	19,365,891
(2) 無形固定資産	254,086
(3) 投資その他の資産	1,299,339
2 流動資産	10,432,331
(1) 現金及び預金	5,897,916
(2) 未収金及び未収収益	4,464,104
(3) 貸倒引当金()	17,148
(4) 貯蔵品	87,459
3 繰延資産	-
負債合計	42,011,749
1 固定負債	31,175,455
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,880,508
(2) その他の企業債	11,664,793
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,630,154
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,957,025
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	718,959
(2) その他の企業債	424,778
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	453,712
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,281,865
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,879,269
(1) 長期前受金	12,665,306
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,786,037
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-10,660,102
1 資本金	4,283,457
2 剰余金	-14,943,559
(1) 資本剰余金	598,060
(2) 利益剰余金	-15,541,619
負債・資本合計	31,351,647
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	10,660,102
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,780,833
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	300,385	304,615
資本勘定繰入	124,669	124,669
計	425,054	429,284

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	115.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	3,470,528
地財法上の資金不足比率(%)	25.7

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	荒尾市				
病院名	荒尾市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,145 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	270	71.5	71.7	76.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	34.1	42.1	16.5
計	274	70.9	71.3	75.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	14.2	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	50,832	
決算規模(千円)	27,730,411	
標準財政規模(千円)	12,337,328	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	53.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,446,971			
1 経常収益	7,445,154			
(1) 医業収益	6,171,165			
(うち修正医業収益)	5,971,526			
入院収益	3,986,642			
外来収益	1,818,641			
診療収入計	5,805,283			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	365,882			
(うち他会計負担金)	199,639			
(2) 医業外収益	1,273,989			
(うち国・都道府県補助金)	851,268			
(うち他会計補助・負担金)	232,127			
(うち長期前受金戻入)	51,304			
(うち資本費繰入収益)	91,781			
(3) 特別利益	1,817			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,125,893			
2 経常費用	7,068,503			
(1) 医業費用	6,628,077			
職員給与費	3,736,528	60.5	59.4	63.7
材料費	1,648,287	26.7	26.1	21.0
(うち薬品費)	1,021,165	16.5	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	575,272	9.3	11.8	10.1
減価償却費	297,185	4.8	8.7	9.7
経費	921,445	14.9	22.1	28.9
(うち委託料)	555,571	9.0	11.7	13.6
研究研修費	16,265			
資産減耗費	8,367			
(2) 医業外費用	440,426			
(うち支払利息)	14,294	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	57,390			
損益	376,651			
純損益	321,078			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.3		103.3	101.8
医業収支比率	93.1		85.5	80.8
修正医業収支比率	90.1		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.8		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.0		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	5.8		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	99.2		91.9	89.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,406,461
1 固定資産	8,982,598
(1) 有形固定資産	8,977,023
(2) 無形固定資産	2,110
(3) 投資その他の資産	3,465
2 流動資産	5,423,863
(1) 現金及び預金	3,962,432
(2) 未収金及び未収収益	1,452,418
(3) 貸倒引当金()	12,589
(4) 貯蔵品	21,602
3 繰延資産	-
負債合計	12,075,729
1 固定負債	8,631,708
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,447,029
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,184,679
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,124,857
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	224,345
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	227,568
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,643,157
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	319,164
(1) 長期前受金	514,230
(2) 長期前受金収益化累計額()	195,066
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,330,732
1 資本金	1,443,386
2 剰余金	887,346
(1) 資本剰余金	40,395
(2) 利益剰余金	846,951
負債・資本合計	14,406,461
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	431,766	431,766
資本勘定繰入	125,726	91,781
計	557,492	523,547

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	水俣市				
病院名	国保水俣市立総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	29,327 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	357	62.9	67.2	71.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	5.8	7.5	9.6
計	361	62.2	66.6	70.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.1	17.7	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	23,557	
決算規模(千円)	15,680,100	
標準財政規模(千円)	8,730,740	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	15.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,154,490			
1 経常収益	8,142,447			
(1) 医業収益	6,416,184			
(うち修正医業収益)	6,352,288			
入院収益	3,771,497			
外来収益	2,400,052			
診療収入計	6,171,549			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	244,635			
(うち他会計負担金)	63,896			
(2) 医業外収益	1,726,263			
(うち国・都道府県補助金)	1,231,955			
(うち他会計補助・負担金)	199,147			
(うち長期前受金戻入)	89,580			
(うち資本費繰入収益)	142,583			
(3) 特別利益	12,043			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,484,884			
2 経常費用	7,418,735			
(1) 医業費用	7,140,565			
職員給与費	4,214,771	65.7	59.4	59.0
材料費	1,495,498	23.3	26.1	25.6
(うち薬品費)	761,050	11.9	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	661,506	10.3	11.8	11.2
減価償却費	530,866	8.3	8.7	8.6
経費	869,843	13.6	22.1	21.3
(うち委託料)	319,489	5.0	11.7	11.6
研究研修費	21,014			
資産減耗費	8,573			
(2) 医業外費用	278,170			
(うち支払利息)	21,377	0.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	66,149			
損益	723,712			
純損益	669,606			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.8		103.3	104.8
医業収支比率	89.9		85.5	87.0
修正医業収支比率	89.0		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	3.2		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	4.1		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	3.2		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	106.2		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,615,735
1 固定資産	5,617,389
(1) 有形固定資産	5,066,688
(2) 無形固定資産	429
(3) 投資その他の資産	550,272
2 流動資産	7,998,346
(1) 現金及び預金	6,155,351
(2) 未収金及び未収収益	1,749,255
(3) 貸倒引当金()	2,011
(4) 貯蔵品	60,551
3 繰延資産	-
負債合計	6,078,817
1 固定負債	3,949,666
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,892,324
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,057,342
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,129,780
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	461,091
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	262,087
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	382,522
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	999,371
(1) 長期前受金	1,846,179
(2) 長期前受金収益化累計額()	846,808
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,536,918
1 資本金	2,049,818
2 剰余金	5,487,100
(1) 資本剰余金	14,204
(2) 利益剰余金	5,472,896
負債・資本合計	13,615,735
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	451,463	263,043
資本勘定繰入	228,929	142,583
計	680,392	405,626

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	山鹿市				
病院名	山鹿市民医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	16,198 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	197	56.6	60.4	59.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	69.4	56.3	61.4
計	201	56.9	60.3	59.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	15.4	16.7

設立団体の状況		
人口(人)	49,025	
決算規模(千円)	31,480,583	
標準財政規模(千円)	16,981,218	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	99.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,351,982			
1 経常収益	4,350,938			
(1) 医業収益	3,240,410			
(うち修正医業収益)	3,104,630			
入院収益	2,168,587			
外来収益	817,188			
診療収入計	2,985,775			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	254,635			
(うち他会計負担金)	135,780			
(2) 医業外収益	1,110,528			
(うち国・都道府県補助金)	633,316			
(うち他会計補助・負担金)	203,989			
(うち長期前受金戻入)	22,625			
(うち資本費繰入収益)	231,450			
(3) 特別利益	1,044			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,926,598			
2 経常費用	3,914,948			
(1) 医業費用	3,732,868			
職員給与費	2,110,926	65.1	59.4	63.7
材料費	771,580	23.8	26.1	21.0
(うち薬品費)	401,975	12.4	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	340,873	10.5	11.8	10.1
減価償却費	321,174	9.9	8.7	9.7
経費	506,223	15.6	22.1	28.9
(うち委託料)	262,698	8.1	11.7	13.6
研究研修費	8,391			
資産減耗費	14,574			
(2) 医業外費用	182,080			
(うち支払利息)	19,789	0.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	11,650			
損益	435,990			
純損益	425,384			
累積欠損金	-			
経常収支比率	111.1		103.3	101.8
医業収支比率	86.8		85.5	80.8
修正医業収支比率	83.2		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	7.8		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	102.5		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,628,046
1 固定資産	3,494,659
(1) 有形固定資産	3,458,277
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	36,382
2 流動資産	1,133,387
(1) 現金及び預金	238,292
(2) 未収金及び未収収益	907,729
(3) 貸倒引当金()	35,262
(4) 貯蔵品	22,628
3 繰延資産	-
負債合計	4,197,739
1 固定負債	2,911,799
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,914,385
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	400,000
(6) 引当金	597,414
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,094,782
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	356,250
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	100,000
(5) 引当金	177,054
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	228,783
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	191,158
(1) 長期前受金	475,885
(2) 長期前受金収益化累計額()	284,727
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	430,307
1 資本金	174,118
2 剰余金	256,189
(1) 資本金剰余金	103,795
(2) 利益剰余金	152,394
負債・資本合計	4,628,046
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	315,777	339,769
資本勘定繰入	231,450	231,450
計	547,227	571,219

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		熊本県	
市町村・組合名	上天草市		
病院名	上天草総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	11,805 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	24	指定病院の状況	救臨へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	149	74.3	72.8	76.9
療養	46	91.6	97.7	98.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	195	78.4	78.7	82.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	14.9	17.3

設立団体の状況		
人口(人)	24,563	
決算規模(千円)	20,487,805	
標準財政規模(千円)	10,514,494	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,073,942			
1 経常収益	4,073,942			
(1) 医業収益	2,965,223			
(うち修正医業収益)	2,879,430			
入院収益	1,714,451			
外来収益	961,395			
診療収入計	2,675,846			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	289,377			
(うち他会計負担金)	85,793			
(2) 医業外収益	1,108,719			
(うち国・都道府県補助金)	437,401			
(うち他会計補助・負担金)	137,678			
(うち長期前受金戻入)	13,306			
(うち資本費繰入収益)	70,384			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,791,266			
2 経常費用	3,789,910			
(1) 医業費用	2,894,011			
職員給与費	1,862,886	62.8	59.4	67.0
材料費	442,362	14.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	163,151	5.5	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	230,982	7.8	11.8	9.4
減価償却費	178,596	6.0	8.7	10.2
経費	391,999	13.2	22.1	28.8
(うち委託料)	128,995	4.4	11.7	13.2
研究研修費	3,992			
資産減耗費	14,176			
(2) 医業外費用	895,899			
(うち支払利息)	523	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	1,356			
損益	284,032			
純損益	282,676			
累積欠損金	87,342			
経常収支比率	107.5		103.3	104.5
医業収支比率	102.5		85.5	80.1
修正医業収支比率	99.5		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	5.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.5		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	5.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	101.6		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,033,368
1 固定資産	4,142,204
(1) 有形固定資産	4,125,173
(2) 無形固定資産	3,471
(3) 投資その他の資産	13,560
2 流動資産	1,891,164
(1) 現金及び預金	1,086,305
(2) 未収金及び未収収益	784,960
(3) 貸倒引当金()	1,697
(4) 貯蔵品	19,584
3 繰延資産	-
負債合計	2,702,256
1 固定負債	1,968,771
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,531,387
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	437,384
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	589,683
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	192,780
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	162,425
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	217,163
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	143,802
(1) 長期前受金	383,629
(2) 長期前受金収益化累計額()	239,827
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,331,112
1 資本金	3,348,192
2 剰余金	-17,080
(1) 資本剰余金	70,262
(2) 利益剰余金	-87,342
負債・資本合計	6,033,368
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	223,704	223,471
資本勘定繰入	82,965	61,727
計	306,669	285,198

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	宇城市				
病院名	宇城市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	2,158 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	6	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	否		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	19.3	34.8	38.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	19.3	34.8	38.3
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	21.0	21.3

設立団体の状況		
人口(人)	57,032	
決算規模(千円)	34,225,716	
標準財政規模(千円)	18,122,209	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	22.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	509,966			
1 経常収益	509,932			
(1) 医業収益	196,784			
(うち修正医業収益)	181,211			
入院収益	63,826			
外来収益	97,472			
診療収入計	161,298			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	35,486			
(うち他会計負担金)	15,573			
(2) 医業外収益	313,148			
(うち国・都道府県補助金)	6,000			
(うち他会計補助・負担金)	55,732			
(うち長期前受金戻入)	4,580			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	34			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	382,146			
2 経常費用	378,845			
(1) 医業費用	368,604			
職員給与費	217,465	110.5	59.4	87.7
材料費	12,326	6.3	26.1	13.6
(うち薬品費)	6,903	3.5	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	5,196	2.6	11.8	5.9
減価償却費	21,533	10.9	8.7	12.7
経費	112,803	57.3	22.1	45.1
(うち委託料)	67,549	34.3	11.7	21.3
研究研修費	146			
資産減耗費	4,331			
(2) 医業外費用	10,241			
(うち支払利息)	101	0.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	3,301			
損益	131,087			
純損益	127,820			
累積欠損金	216,362			
経常収支比率	134.6		103.3	101.7
医業収支比率	53.4		85.5	62.5
修正医業収支比率	49.2		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	14.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	36.2		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	14.0		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	115.8		91.9	67.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	696,915
1 固定資産	299,250
(1) 有形固定資産	299,088
(2) 無形固定資産	162
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	397,665
(1) 現金及び預金	223,840
(2) 未収金及び未収収益	172,325
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,500
3 繰延資産	-
負債合計	220,250
1 固定負債	30,048
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,048
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	-
2 流動負債	31,366
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,306
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,060
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	158,836
(1) 長期前受金	192,373
(2) 長期前受金収益化累計額()	33,537
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	476,665
1 資本金	687,077
2 剰余金	-210,412
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-210,412
負債・資本合計	696,915
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	139,374	71,305
資本勘定繰入	5,220	5,220
計	144,594	76,525

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	109.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		熊本県	
市町村・組合名	阿蘇市		
病院名	阿蘇医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	11,336 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	21	指定病院の状況	救臨が感へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	120	42.5	48.9	47.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	63.2	22.5	40.3
計	124	43.2	48.0	47.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	15.5	14.1

設立団体の状況		
人口(人)	24,930	
決算規模(千円)	18,616,441	
標準財政規模(千円)	10,039,220	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	52.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,730,617			
1 経常収益	2,727,558			
(1) 医業収益	1,736,815			
(うち修正医業収益)	1,638,155			
入院収益	805,622			
外来収益	752,594			
診療収入計	1,558,216			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	178,599			
(うち他会計負担金)	98,660			
(2) 医業外収益	990,743			
(うち国・都道府県補助金)	523,522			
(うち他会計補助・負担金)	324,050			
(うち長期前受金戻入)	131,444			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,059			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,655,726			
2 経常費用	2,654,960			
(1) 医業費用	2,510,569			
職員給与費	1,188,415	68.4	59.4	67.0
材料費	326,659	18.8	26.1	18.2
(うち薬品費)	144,681	8.3	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	166,620	9.6	11.8	9.4
減価償却費	205,056	11.8	8.7	10.2
経費	787,283	45.3	22.1	28.8
(うち委託料)	374,217	21.5	11.7	13.2
研究研修費	3,156			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	144,391			
(うち支払利息)	37,189	2.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	766			
損益	72,598			
純損益	74,891			
累積欠損金	1,449,651			
経常収支比率	102.7		103.3	104.5
医業収支比率	69.2		85.5	80.1
修正医業収支比率	65.3		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	24.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	86.8		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,346,727
1 固定資産	3,866,987
(1) 有形固定資産	3,866,987
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,385,339
(1) 現金及び預金	737,563
(2) 未収金及び未収収益	637,526
(3) 貸倒引当金()	2,988
(4) 貯蔵品	13,238
3 繰延資産	94,401
負債合計	5,141,953
1 固定負債	3,826,721
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,931,391
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	611,430
(6) 引当金	283,900
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	487,741
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	174,407
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	62,763
(5) 引当金	71,081
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	179,336
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	827,491
(1) 長期前受金	1,749,620
(2) 長期前受金収益化累計額()	922,129
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	204,774
1 資本金	1,445,377
2 剰余金	-1,240,603
(1) 資本剰余金	201,330
(2) 利益剰余金	-1,441,933
負債・資本合計	5,346,727
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	429,093	422,710
資本勘定繰入	79,156	79,156
計	508,249	501,866

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	83.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	天草市				
病院名	天草市立牛深市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,225 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	85	60.8	56.2	55.8
療養	33	84.7	85.7	74.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	118	67.5	64.4	61.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	15.7	18.5

設立団体の状況		
人口(人)	75,783	
決算規模(千円)	60,566,638	
標準財政規模(千円)	30,442,460	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	90.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,307,479			
1 経常収益	2,307,479			
(1) 医業収益	1,565,172			
(うち修正医業収益)	1,457,253			
入院収益	909,358			
外来収益	460,574			
診療収入計	1,369,932			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	195,240			
(うち他会計負担金)	107,919			
(2) 医業外収益	742,307			
(うち国・都道府県補助金)	519,959			
(うち他会計補助・負担金)	134,600			
(うち長期前受金戻入)	78,234			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,829,617			
2 経常費用	1,829,617			
(1) 医業費用	1,750,246			
職員給与費	1,195,787	76.4	59.4	67.0
材料費	180,701	11.5	26.1	18.2
(うち薬品費)	87,687	5.6	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	72,968	4.7	11.8	9.4
減価償却費	130,054	8.3	8.7	10.2
経費	236,350	15.1	22.1	28.8
(うち委託料)	110,569	7.1	11.7	13.2
研究研修費	1,134			
資産減耗費	6,220			
(2) 医業外費用	79,371			
(うち支払利息)	13,445	0.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	477,862			
純損益	477,862			
累積欠損金	-			
経常収支比率	126.1		103.3	104.5
医業収支比率	89.4		85.5	80.1
修正医業収支比率	83.3		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	15.5		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	112.9		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,944,028
1 固定資産	5,791,404
(1) 有形固定資産	4,668,990
(2) 無形固定資産	860
(3) 投資その他の資産	1,121,554
2 流動資産	5,152,624
(1) 現金及び預金	3,840,314
(2) 未収金及び未収収益	1,284,872
(3) 貸倒引当金()	3,437
(4) 貯蔵品	17,649
3 繰延資産	-
負債合計	4,680,794
1 固定負債	2,539,604
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,552,239
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	987,365
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	767,115
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	324,518
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	117,704
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	299,859
(9) 前受金及び前受収益	12,373
3 繰延収益	1,374,075
(1) 長期前受金	2,395,873
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,021,798
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,263,234
1 資本金	3,538,961
2 剰余金	2,724,273
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	2,724,273
負債・資本合計	10,944,028
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	305,635	242,519
資本勘定繰入	117,037	103,606
計	422,672	346,125

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	天草市				
病院名	天草市立栖本病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,491 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	24	61.8	55.5	56.8
療養	-	-	-	-
結核	20	-	-	4.6
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	44	33.7	30.3	22.5
平均在院日数(一般病床のみ)		20.1	22.5	25.9

設立団体の状況		
人口(人)	75,783	
決算規模(千円)	60,566,638	
標準財政規模(千円)	30,442,460	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	90.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	837,423			
1 経常収益	837,423			
(1) 医業収益	371,851			
(うち修正医業収益)	328,927			
入院収益	180,578			
外来収益	119,193			
診療収入計	299,771			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	72,080			
(うち他会計負担金)	42,924			
(2) 医業外収益	465,572			
(うち国・都道府県補助金)	300,960			
(うち他会計補助・負担金)	130,882			
(うち長期前受金戻入)	31,849			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	506,293			
2 経常費用	506,293			
(1) 医業費用	484,454			
職員給与費	316,705	85.2	59.4	87.7
材料費	35,189	9.5	26.1	13.6
(うち薬品費)	12,376	3.3	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,750	5.0	11.8	5.9
減価償却費	48,546	13.1	8.7	12.7
経費	80,995	21.8	22.1	45.1
(うち委託料)	34,386	9.2	11.7	21.3
研究研修費	204			
資産減耗費	2,815			
(2) 医業外費用	21,839			
(うち支払利息)	6	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	331,130			
純損益	331,130			
累積欠損金	-			
経常収支比率	165.4		103.3	101.7
医業収支比率	76.8		85.5	62.5
修正医業収支比率	67.9		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	20.8		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	46.7		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	20.8		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	131.1		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,944,028
1 固定資産	5,791,404
(1) 有形固定資産	4,668,990
(2) 無形固定資産	860
(3) 投資その他の資産	1,121,554
2 流動資産	5,152,624
(1) 現金及び預金	3,840,314
(2) 未収金及び未収収益	1,284,872
(3) 貸倒引当金()	3,437
(4) 貯蔵品	17,649
3 繰延資産	-
負債合計	4,680,794
1 固定負債	2,539,604
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,552,239
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	987,365
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	767,115
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	324,518
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	117,704
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	299,859
(9) 前受金及び前受収益	12,373
3 繰延収益	1,374,075
(1) 長期前受金	2,395,873
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,021,798
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,263,234
1 資本金	3,538,961
2 剰余金	2,724,273
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	2,724,273
負債・資本合計	10,944,028
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	187,362	173,806
資本勘定繰入	7,417	8,154
計	194,779	181,960

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		熊本県	
市町村・組合名	天草市		
病院名	国民健康保険 天草市立 新和病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,140 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	30	82.9	74.5	74.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	82.9	74.5	74.3
平均在院日数(一般病床のみ)		28.6	24.2	34.3

設立団体の状況		
人口(人)	75,783	
決算規模(千円)	60,566,638	
標準財政規模(千円)	30,442,460	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	90.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	533,424			
1 経常収益	533,424			
(1) 医業収益	419,062			
(うち修正医業収益)	385,661			
入院収益	195,854			
外来収益	163,412			
診療収入計	359,266			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	59,796			
(うち他会計負担金)	33,401			
(2) 医業外収益	114,362			
(うち国・都道府県補助金)	2,809			
(うち他会計補助・負担金)	87,980			
(うち長期前受金戻入)	18,336			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	595,703			
2 経常費用	595,703			
(1) 医業費用	579,485			
職員給与費	427,895	102.1	59.4	87.7
材料費	41,878	10.0	26.1	13.6
(うち薬品費)	16,474	3.9	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,634	3.7	11.8	5.9
減価償却費	43,341	10.3	8.7	12.7
経費	64,188	15.3	22.1	45.1
(うち委託料)	28,824	6.9	11.7	21.3
研究研修費	816			
資産減耗費	1,367			
(2) 医業外費用	16,218			
(うち支払利息)	2,751	0.7	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常				
純				
損	-62,279			
益	-62,279			
累積欠損金	69,007			
経常収支比率	89.5		103.3	101.7
医業収支比率	72.3		85.5	62.5
修正医業収支比率	66.6		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	22.8		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	29.0		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	22.8		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	69.2		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,944,028
1 固定資産	5,791,404
(1) 有形固定資産	4,668,990
(2) 無形固定資産	860
(3) 投資その他の資産	1,121,554
2 流動資産	5,152,624
(1) 現金及び預金	3,840,314
(2) 未収金及び未収収益	1,284,872
(3) 貸倒引当金()	3,437
(4) 貯蔵品	17,649
3 繰延資産	-
負債合計	4,680,794
1 固定負債	2,539,604
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,552,239
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	987,365
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	767,115
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	324,518
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	117,704
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	299,859
(9) 前受金及び前受収益	12,373
3 繰延収益	1,374,075
(1) 長期前受金	2,395,873
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,021,798
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,263,234
1 資本金	3,538,961
2 剰余金	2,724,273
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	2,724,273
負債・資本合計	10,944,028
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	187,305	121,381
資本勘定繰入	15,462	10,335
計	202,767	131,716

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	天草市				
病院名	河浦病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,328 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	26	82.8	77.0	61.9
療養	40	81.3	74.5	55.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	66	81.9	75.5	57.7
平均在院日数(一般病床のみ)		23.0	22.2	22.9

設立団体の状況		
人口(人)	75,783	
決算規模(千円)	60,566,638	
標準財政規模(千円)	30,442,460	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	90.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	973,787			
1 経常収益	973,787			
(1) 医業収益	677,090			
(うち修正医業収益)	627,397			
入院収益	422,705			
外来収益	163,526			
診療収入計	586,231			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	90,859			
(うち他会計負担金)	49,693			
(2) 医業外収益	296,697			
(うち国・都道府県補助金)	71,667			
(うち他会計補助・負担金)	191,151			
(うち長期前受金戻入)	28,173			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	984,059			
2 経常費用	984,059			
(1) 医業費用	933,404			
職員給与費	604,250	89.2	59.4	76.5
材料費	72,478	10.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	26,240	3.9	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,798	4.7	11.8	6.4
減価償却費	64,322	9.5	8.7	11.5
経費	191,454	28.3	22.1	32.6
(うち委託料)	102,667	15.2	11.7	14.8
研究研修費	830			
資産減耗費	70			
(2) 医業外費用	50,655			
(うち支払利息)	4,935	0.7	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-10,272			
純損失	-10,272			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.0		103.3	101.5
医業収支比率	72.5		85.5	73.2
修正医業収支比率	67.2		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.7		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	35.6		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	24.7		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	74.5		91.9	78.8

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,944,028
1 固定資産	5,791,404
(1) 有形固定資産	4,668,990
(2) 無形固定資産	860
(3) 投資その他の資産	1,121,554
2 流動資産	5,152,624
(1) 現金及び預金	3,840,314
(2) 未収金及び未収収益	1,284,872
(3) 貸倒引当金()	3,437
(4) 貯蔵品	17,649
3 繰延資産	-
負債合計	4,680,794
1 固定負債	2,539,604
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,552,239
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	987,365
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	767,115
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	324,518
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	117,704
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	299,859
(9) 前受金及び前受収益	12,373
3 繰延収益	1,374,075
(1) 長期前受金	2,395,873
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,021,798
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,263,234
1 資本金	3,538,961
2 剰余金	2,724,273
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	2,724,273
負債・資本合計	10,944,028
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	322,694	240,844
資本勘定繰入	56,087	35,616
計	378,781	276,460

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	和水町				
病院名	和水町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,222 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	49	45.6	33.2	46.9
療養	42	52.6	57.1	51.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	91	48.8	44.2	49.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	19.0	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	9,342	
決算規模(千円)	8,494,913	
標準財政規模(千円)	4,439,305	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,404,422			
1 経常収益	1,399,434			
(1) 医業収益	754,358			
(うち修正医業収益)	666,621			
入院収益	394,568			
外来収益	177,500			
診療収入計	572,068			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	182,290			
(うち他会計負担金)	87,737			
(2) 医業外収益	645,076			
(うち国・都道府県補助金)	507,074			
(うち他会計補助・負担金)	114,886			
(うち長期前受金戻入)	21,387			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,988			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	947,799			
2 経常費用	947,799			
(1) 医業費用	922,016			
職員給与費	539,945	71.6	59.4	76.5
材料費	83,524	11.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	40,483	5.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,307	5.2	11.8	6.4
減価償却費	76,579	10.2	8.7	11.5
経費	221,491	29.4	22.1	32.6
(うち委託料)	118,944	15.8	11.7	14.8
研究研修費	477			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	25,783			
(うち支払利息)	4,244	0.6	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	451,635			
純損益	456,623			
累積欠損金	-			
経常収支比率	147.7		103.3	101.5
医業収支比率	81.8		85.5	73.2
修正医業収支比率	72.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.5		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	26.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	14.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	126.3		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,699,073
1 固定資産	752,345
(1) 有形固定資産	752,345
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,946,728
(1) 現金及び預金	1,473,744
(2) 未収金及び未収収益	469,182
(3) 貸倒引当金()	680
(4) 貯蔵品	4,482
3 繰延資産	-
負債合計	512,621
1 固定負債	287,474
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	287,474
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	122,702
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,169
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	37,725
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,158
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	102,445
(1) 長期前受金	274,732
(2) 長期前受金収益化累計額()	172,287
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,186,452
1 資本金	1,618,278
2 剰余金	568,174
(1) 資本剰余金	6,416
(2) 利益剰余金	561,758
負債・資本合計	2,699,073
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	220,095	202,623
資本勘定繰入	39,857	39,857
計	259,952	242,480

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	山都町				
病院名	山都町包括医療センターそよう病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,480 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	15	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	57	49.4	51.3	70.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	57	49.4	51.3	70.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	16.3	19.7

設立団体の状況	
人口(人)	13,503
決算規模(千円)	15,058,874
標準財政規模(千円)	7,490,193
財政力指数	0.22
経常収支比率(%)	82.5
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	4.3
将来負担比率(%)	2.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,191,762			
1 経常収益	1,159,581			
(1) 医業収益	840,979			
(うち修正医業収益)	769,398			
入院収益	345,752			
外来収益	392,854			
診療収入計	738,606			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	102,373			
(うち他会計負担金)	71,581			
(2) 医業外収益	318,602			
(うち国・都道府県補助金)	169,746			
(うち他会計補助・負担金)	100,718			
(うち長期前受金戻入)	11,879			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	32,181			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,070,569			
2 経常費用	1,068,324			
(1) 医業費用	1,000,745			
職員給与費	545,062	64.8	59.4	76.5
材料費	110,222	13.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	52,523	6.2	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	50,990	6.1	11.8	6.4
減価償却費	66,328	7.9	8.7	11.5
経費	278,395	33.1	22.1	32.6
(うち委託料)	104,014	12.4	11.7	14.8
研究研修費	628			
資産減耗費	110			
(2) 医業外費用	67,579			
(うち支払利息)	10,895	1.3	1.0	1.3
(3) 特別損失	2,245			
経常損益	91,257			
純損益	121,193			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.5		103.3	101.5
医業収支比率	84.0		85.5	73.2
修正医業収支比率	76.9		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.9		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	20.5		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	14.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	92.4		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,750,273
1 固定資産	1,165,906
(1) 有形固定資産	1,165,906
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,584,367
(1) 現金及び預金	1,370,840
(2) 未収金及び未収収益	205,811
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,716
3 繰延資産	-
負債合計	1,124,711
1 固定負債	904,503
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	889,267
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	15,236
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	121,712
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,723
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	36,497
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	41,413
(8) 未払金及び未払費用	41,413
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	98,496
(1) 長期前受金	375,779
(2) 長期前受金収益化累計額()	277,283
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,625,562
1 資本金	925,435
2 剰余金	700,127
(1) 資本金剰余金	84,447
(2) 利益剰余金	615,680
負債・資本合計	2,750,273
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	234,645	172,299
資本勘定繰入	27,701	27,701
計	262,346	200,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	小国郷公立病院組合				
病院名	小国公立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,387 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	73	51.6	47.5	51.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	73	51.6	47.5	51.1
平均在院日数(一般病床のみ)		7.1	6.9	9.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,917,937			
1 経常収益	1,917,937			
(1) 医業収益	935,926			
(うち修正医業収益)	866,031			
入院収益	461,211			
外来収益	317,310			
診療収入計	778,521			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	157,405			
(うち他会計負担金)	69,895			
(2) 医業外収益	982,011			
(うち国・都道府県補助金)	428,771			
(うち他会計補助・負担金)	194,055			
(うち長期前受金戻入)	46,178			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,671,742			
2 経常費用	1,671,742			
(1) 医業費用	1,269,050			
職員給与費	701,988	75.0	59.4	76.5
材料費	118,960	12.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	70,624	7.5	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,458	4.2	11.8	6.4
減価償却費	59,044	6.3	8.7	11.5
経費	381,877	40.8	22.1	32.6
(うち委託料)	108,956	11.6	11.7	14.8
研究研修費	3,750			
資産減耗費	3,431			
(2) 医業外費用	402,692			
(うち支払利息)	187	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	246,195			
純損益	246,195			
累積欠損金	40,728			
経常収支比率	114.7		103.3	101.5
医業収支比率	73.8		85.5	73.2
修正医業収支比率	68.2		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	28.2		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	13.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	98.9		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,171,610
1 固定資産	875,019
(1) 有形固定資産	828,354
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	46,665
2 流動資産	1,296,591
(1) 現金及び預金	922,973
(2) 未収金及び未収収益	365,451
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	8,166
3 繰延資産	-
負債合計	459,321
1 固定負債	61,136
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,759
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,532
(7) 一ス債務	12,845
2 流動負債	133,508
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	59,384
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	57,617
(6) リ一ス債務	3,627
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,133
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	264,677
(1) 長期前受金	668,596
(2) 長期前受金収益化累計額()	403,919
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,712,289
1 資本金	1,590,172
2 剰余金	122,117
(1) 資本剰余金	162,845
(2) 利益剰余金	-40,728
負債・資本合計	2,171,610
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	260,469	263,950
資本勘定繰入	16,600	39,705
計	277,069	303,655

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 熊本県	
市町村・組合名	球磨郡公立多良木病院企業団		
病院名	多良木病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	17,337 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 へ 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	183	79.4	75.9	79.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	183	79.4	75.9	79.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	16.2	17.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,990,749			
1 経常収益	4,989,797			
(1) 医業収益	3,212,634			
(うち修正医業収益)	3,152,634			
入院収益	1,921,438			
外来収益	1,081,933			
診療収入計	3,003,371			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	209,263			
(うち他会計負担金)	60,000			
(2) 医業外収益	1,777,163			
(うち国・都道府県補助金)	494,988			
(うち他会計補助・負担金)	243,559			
(うち長期前受金戻入)	82,742			
(うち資本費繰入収益)	48,000			
(3) 特別利益	952			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,551,012			
2 経常費用	4,550,757			
(1) 医業費用	3,514,601			
職員給与費	1,994,540	62.1	59.4	67.0
材料費	468,943	14.6	26.1	18.2
(うち薬品費)	197,664	6.2	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	237,923	7.4	11.8	9.4
減価償却費	293,093	9.1	8.7	10.2
経費	730,445	22.7	22.1	28.8
(うち委託料)	208,456	6.5	11.7	13.2
研究研修費	5,273			
資産減耗費	22,307			
(2) 医業外費用	1,036,156			
(うち支払利息)	21,255	0.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	255			
損益	439,040			
純損益	439,737			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.6		103.3	104.5
医業収支比率	91.4		85.5	80.1
修正医業収支比率	89.7		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	6.1		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	6.1		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	103.0		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,789,365
1 固定資産	4,918,143
(1) 有形固定資産	3,666,953
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,251,190
2 流動資産	3,871,222
(1) 現金及び預金	3,031,589
(2) 未収金及び未収収益	867,139
(3) 貸倒引当金()	46,443
(4) 貯蔵品	18,937
3 繰延資産	-
負債合計	2,558,378
1 固定負債	1,085,224
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,085,224
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	538,188
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	170,237
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	150,846
(6) リース債務	1,891
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	192,261
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	934,966
(1) 長期前受金	2,158,180
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,223,214
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,230,987
1 資本金	2,647,262
2 剰余金	3,616,589
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	3,616,589
負債・資本合計	8,789,365
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	458,470	303,559
資本勘定繰入	149,333	84,000
計	607,803	387,559

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。